

# 第11回とやま未来創造県民会議 事務局説明資料

令和3年11月8日

富 山 県

- 1 時空観マップ（時間軸・空間軸による整理）
- 2 とやま未来創生戦略の概要
- 3 とやま未来創生戦略の内容
  - ・基本目標 1～基本目標 4  
（KPI、参考データ、主な事業）
  - ・まとめ
- 4 論点

# 1 時空観マップ（時間軸・空間軸による整理）

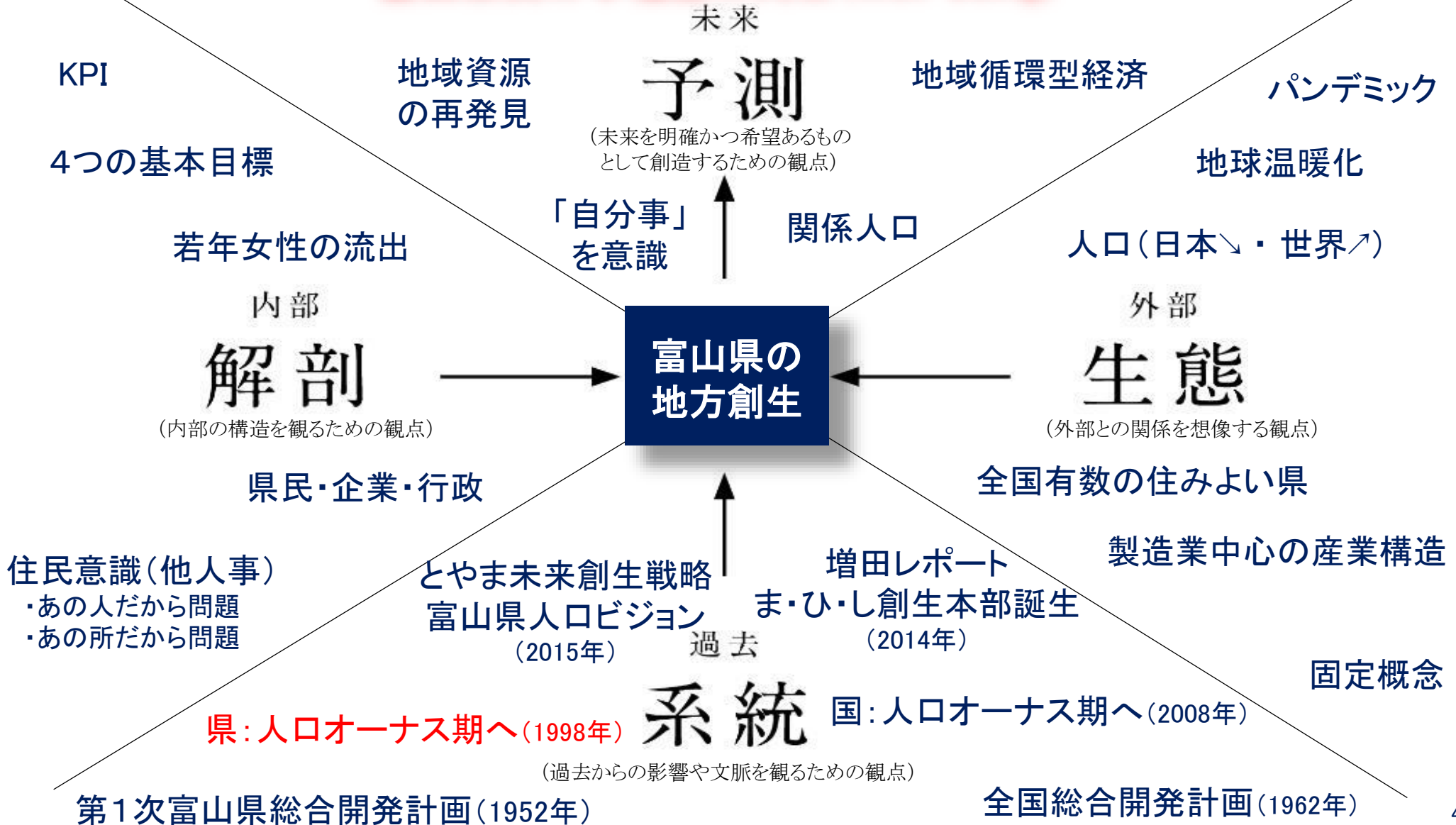
# 1 時空観マップ(時間軸・空間軸による整理)

(出所)「進化思考」(太刀川英輔著)

進化思考の考え方を基に富山県で作成



## 富山県民の幸福度の向上 (Well-being)



## 2 とやま未来創生戦略の概要

### コンセプト

人口減少を克服し、自然、文化、産業など特色・強みを活かし**持続可能**で**活力ある未来の創造**

### 第2期 とやま未来 創生戦略

- ・まち・ひと・しごと創生法に基づき策定した、本県の実情に応じた地方創生についての基本的な計画。
- ・地方創生関係交付金（地方創生推進交付金、地方創生拠点整備交付金）の申請に必要となる。

### 計画期間

5年間（令和2年度～令和6年度）

〔第1期戦略：H27～R1（5年間）〕

### 人口減少**自体**への対応

- ・希望出生率と現状のギャップ
- ・晩婚化と未婚化の進行
- ・若者、女性の転出超過
- ・産業経済の活性化の必要性

### 人口減少**社会**への適応

- ・生産年齢人口の大幅な減少
- ・生産性向上の必要性
- ・地域コミュニティの弱体化
- ・人口減少による様々な影響

#### 基本目標 1

結婚・出産・子育ての  
願いが叶う環境整備

**自然減の歯止め**

#### 基本目標 2

産業振興、若者等の  
雇用創出、観光振興、  
県内への移住促進

**社会増への転換**

#### 基本目標 3

若者・女性・高齢者  
など多様な人材の確保  
と労働生産性の向上

**労働力不足への対応**

#### 基本目標 4

活力あるまち・健や  
かな暮らし・未来を  
担う人づくり

**地域の総合力アップ**

## 2 とやま未来創生戦略の概要(体系)

区分	基本目標	具体的な施策
人口減少自体への対応	<b>基本目標1</b> 結婚・出産・子育ての願いが叶う環境整備	1 結婚から子育てまで切れ目のない支援による <b>少子化対策</b> の推進 2 働き方改革を通じたゆとりある生活の実現による <b>少子化対策</b> の推進
	<b>基本目標2</b> 産業振興、若者等の雇用創出、観光振興、県内への移住促進	1 <b>産業・地域経済の活性化</b> 2 若者や女性がいきいきと働き暮らせる魅力ある <b>地域づくり</b> 3 <b>観光の振興</b> 4 <b>移住・定住</b> の環境づくり、 <b>応援人口</b> の創出・拡大等
人口減少社会への適応	<b>基本目標3</b> 若者・女性・高齢者など多様な人材の確保と労働生産性の向上	1 <b>若者や女性</b> が輝いて働ける環境づくり 2 <b>高齢者等</b> が能力を発揮して活躍できる社会の実現 3 <b>外国人材活躍</b> の促進と多文化共生の地域づくり 4 多様な人材の確保・育成と <b>労働生産性の向上</b>
	<b>基本目標4</b> 活力あるまち・健やかな暮らし・未来を担う人づくり	1 <b>交通ネットワーク</b> 整備と活力ある <b>まちづくり</b> 2 人生100年時代を見据えた <b>人づくり</b> 3 持続可能で安心して暮らせる <b>地域の環境づくり</b> 4 豊かで魅力ある <b>中山間地域</b> の実現

### 総合計画 (H30~R8)

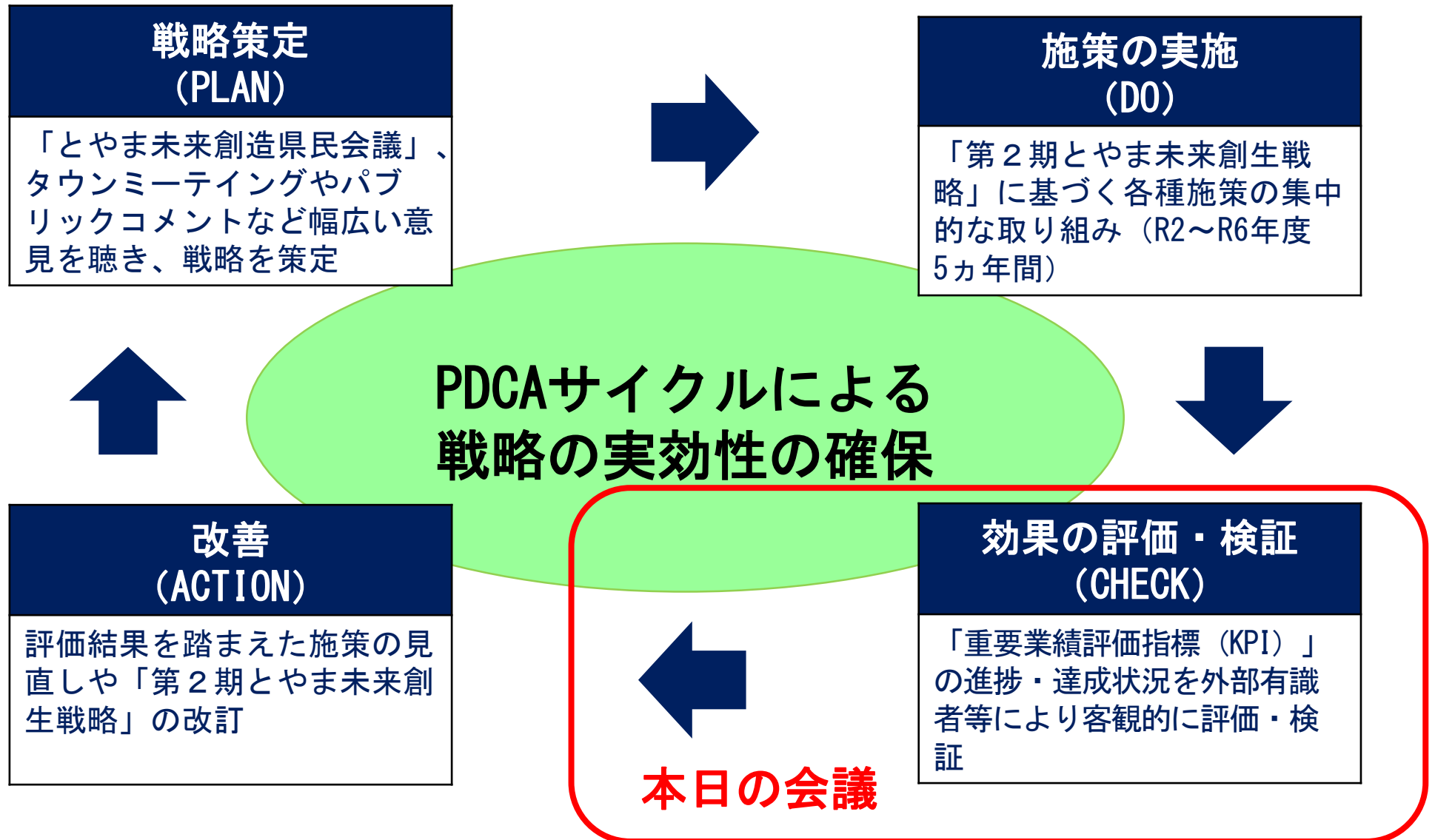
- 県政運営の中長期的指針
- 県の目指すべき将来像、取り組むべき主な施策等を示す  
予算編成・事業立案の基本方針

**未来創生戦略**  
(地方創生に関する施策)

**成長戦略**  
(スピード感をもって取り組むべき  
分野を議論)

**八つの重点政策88の具体策**  
(知事の公約、重点施策と位置づけ)

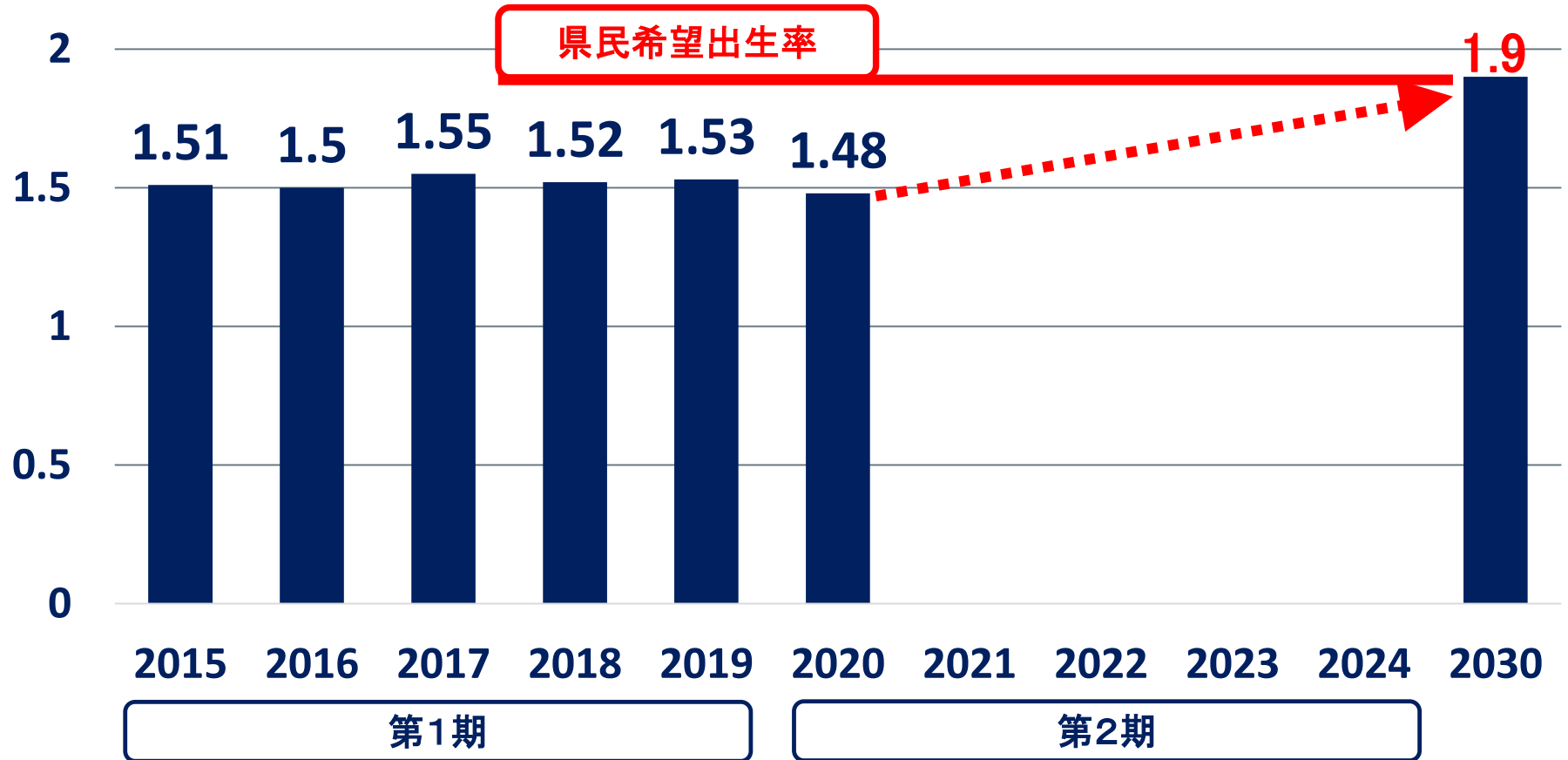




- ### 3 とやま未来創生戦略の内容
- 基本目標 1～基本目標 4  
(KPI、参考データ、主な事業)
  - まとめ

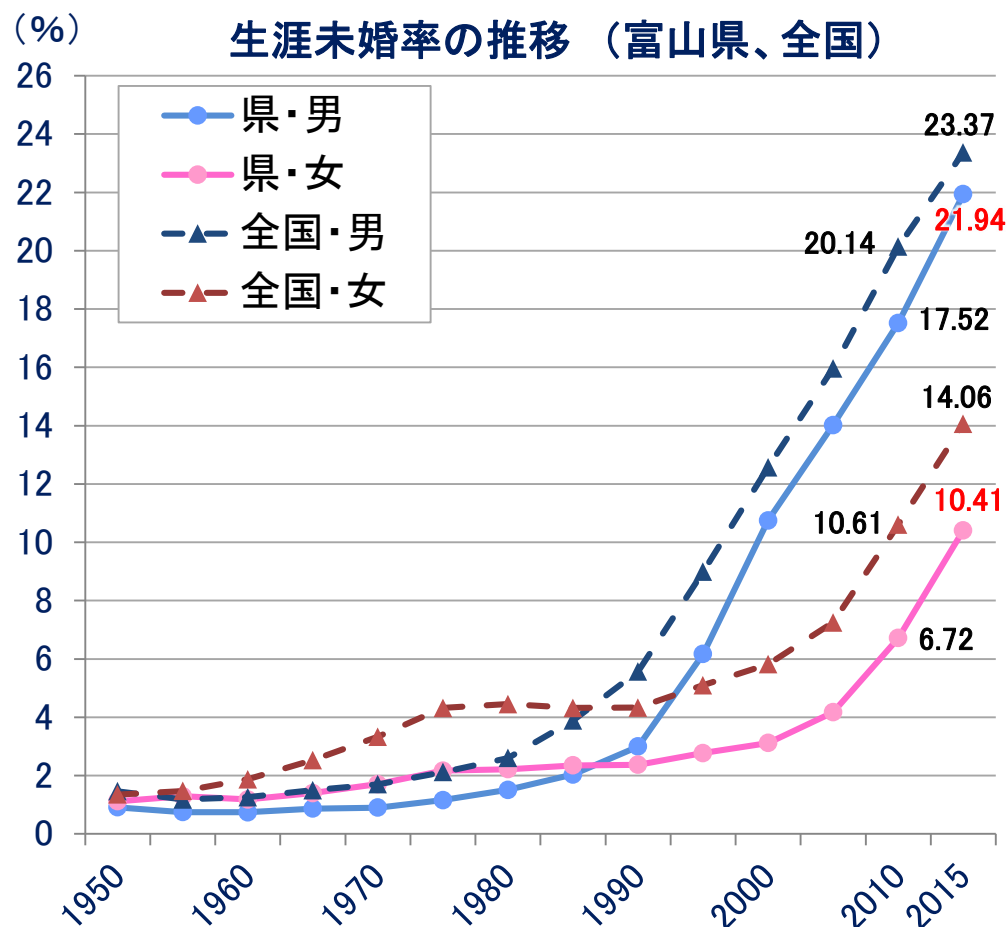
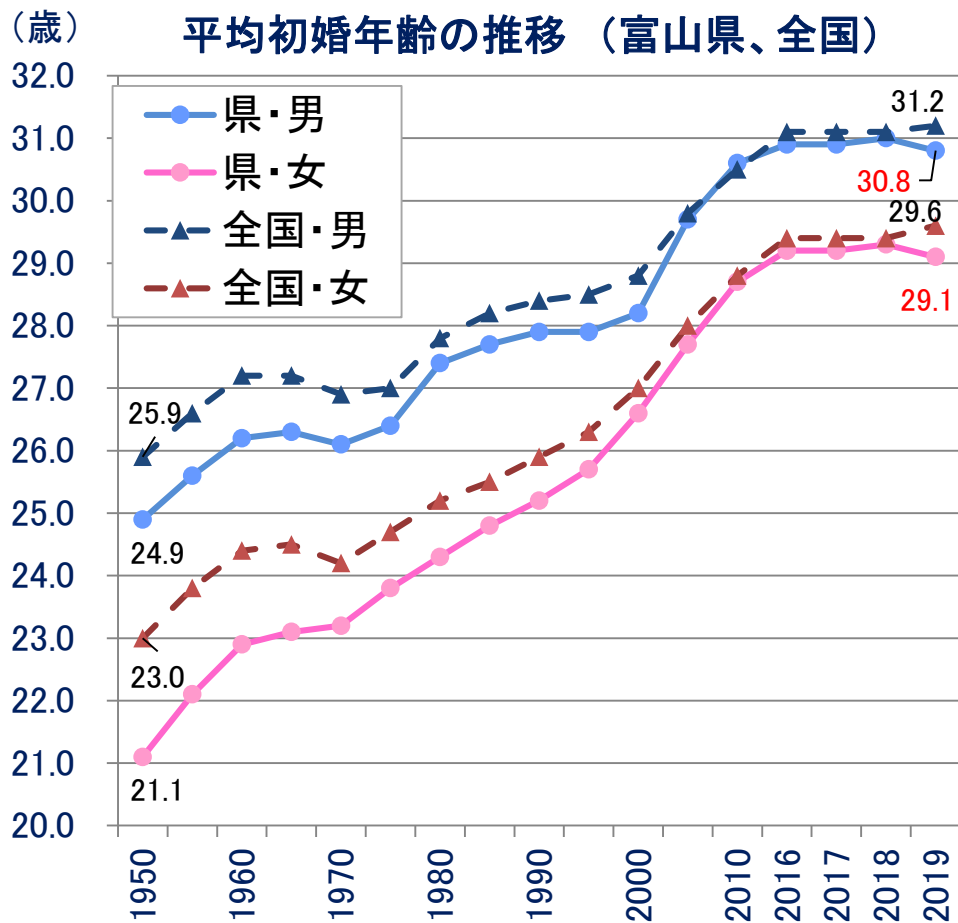
■結婚・出産・子育ての願いが叶う環境整備

数値目標	H27 (第1期基準)	H30	R1	R2	R6 (第2期目標)
合計特殊出生率	1.45 (H26)	1.52	1.53	1.48	引き上げる



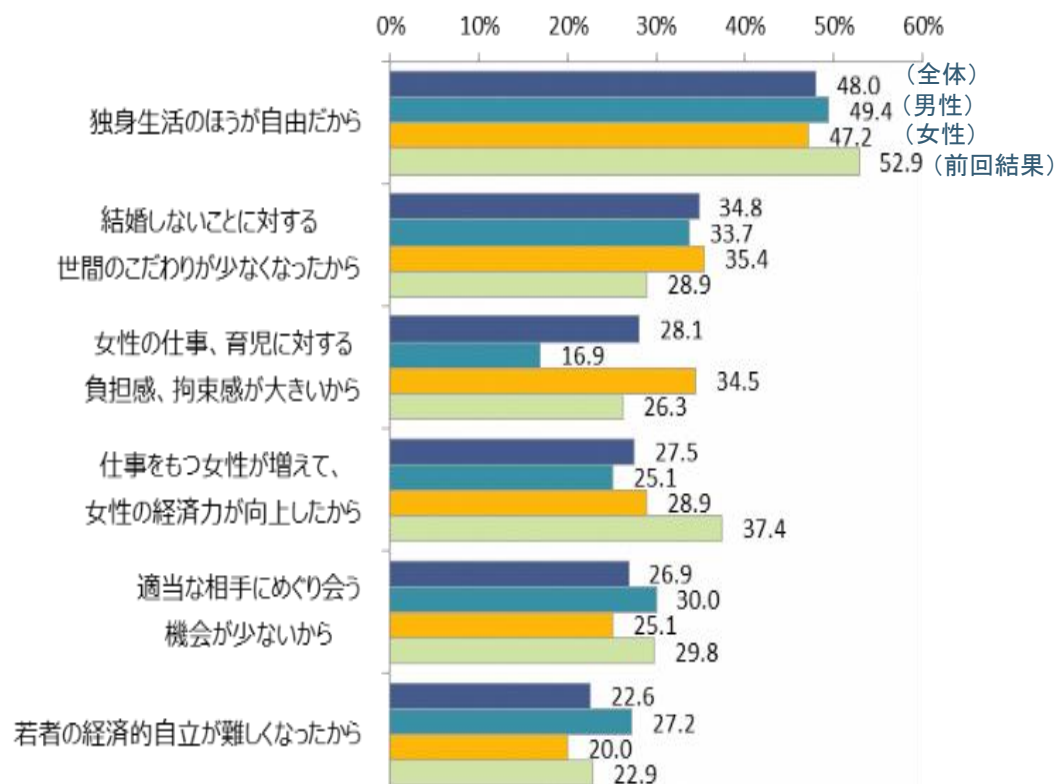
(出典) 厚生労働省「人口動態統計(確定数(2020のみ概数))」(年次) 11

- 平均初婚年齢は 男女ともに全国より低いものの 長期的には上昇（2019年は改善）
- 生涯未婚率も上昇傾向で、特に 1990（H2）年以降、男性の比率が急上昇
- こうした晩婚化と未婚化の進行が 現在の少子化に影響



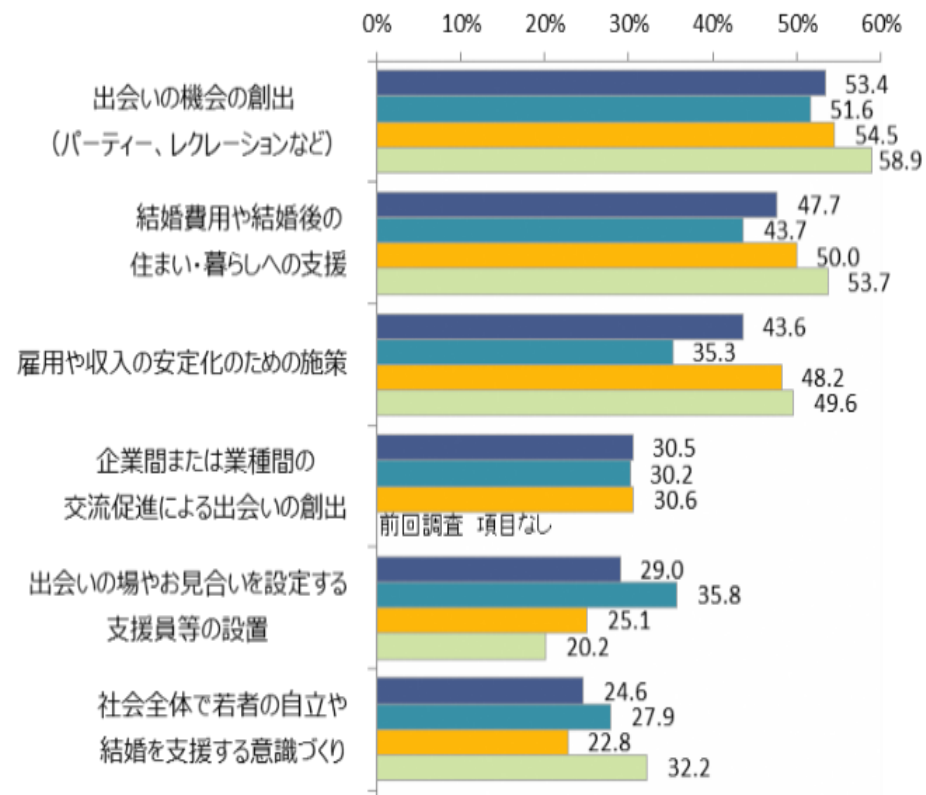
#### ●未婚化、晩婚化の理由？（複数回答3つまで）

全体では、「独身生活のほうが自由だから」が48.0%と最も高い。  
 女性の「女性の仕事、育児に対する負担感、拘束感が大きいから」の回答が特徴的。



#### ●特に必要だと考える取組み？（複数回答）

全体では「出会いの機会の創出」が53.4%と最も高い。  
 男性の「出会いの場やお見合いを設定する支援員等の設置」との回答が特徴的。



(調査の概要)

(1) 調査対象 県内在住の20代から30代の男女2,000人  
 (2) 調査期間 令和元年6月21日～7月5日  
 (3) 調査方法 郵送返送方式、Webによる調査

(4) 回収状況 標本数 2,000人、回収数 669人、回収率 33.5%

## ■結婚・妊娠・出産支援

- ▶とやまマリッジサポートセンターの運営（結婚を希望する独身男女への出会いの機会を提供）
- ▶企業の結婚支援推進（コーディネーターによる企業訪問やビジネスセミナーの開催を通じて企業間の自然な出会いを創出）
- ▶特定不妊治療費助成（助成額：1回30万円まで R4.4～保険適用（予定））
- ▶切れ目ない妊娠・出産包括支援推進事業（子育て世代包括支援センターの運営などを行う市町村に対し、ネットワーク構築や人材育成などを支援）

## ■家庭・地域における子育て支援

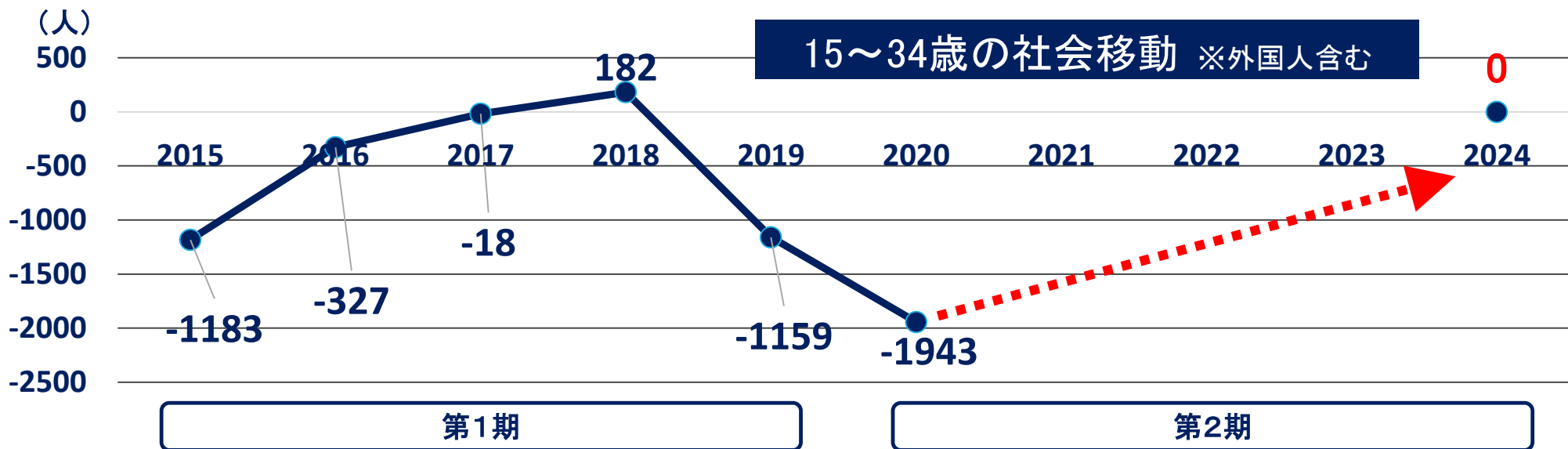
- ▶産後ヘルパー派遣モデル事業（産後2か月以内の家庭に家事代行サービスを行うヘルパーを派遣）
- ▶とやまっ子さんさん広場推進事業費補助金（地域住民やNPOによる自主的な子どもの居場所づくりに対する支援）
- ▶放課後児童クラブに対する支援（18時30分を超えて開所するクラブの処遇改善経費への支援など）
- ▶とやまっ子インフルエンザ予防接種助成事業（未就学児を対象にインフルエンザ予防接種費用を助成）
- ▶とやまっ子子育て支援サービス普及促進事業（「とやまっ子子育て応援券」の対象サービスに新たに子ども同伴時のタクシー利用を追加）
- ▶保育所等保育料軽減事業費補助金（国の無償化の対象とならない0～2歳児の保育料について、無償化・軽減を行う市町村に対する支援）

## ■職場における子育て支援

- ▶Good!!Work&Lifeとやま促進事業（育児・介護休業時代の職場づくりを考えるワークショップを開催）
- ▶男性の家事・育児参画推進キャンペーン事業（職場での働き方・休み方改革や男性の家事・育児参画促進に取り組むワークライフバランス改革チャレンジ事業を実施）
- ▶一般事業主行動計画の策定支援（中小企業の職場環境の整備促進）
- ▶事業所内保育施設の設置促進（設置・運営企業に対する助成や低利融資）
- ▶中小企業の働き方改革モデル取組事例創出事業（働き方改革実践モデル企業への伴走支援型コンサルの実施）

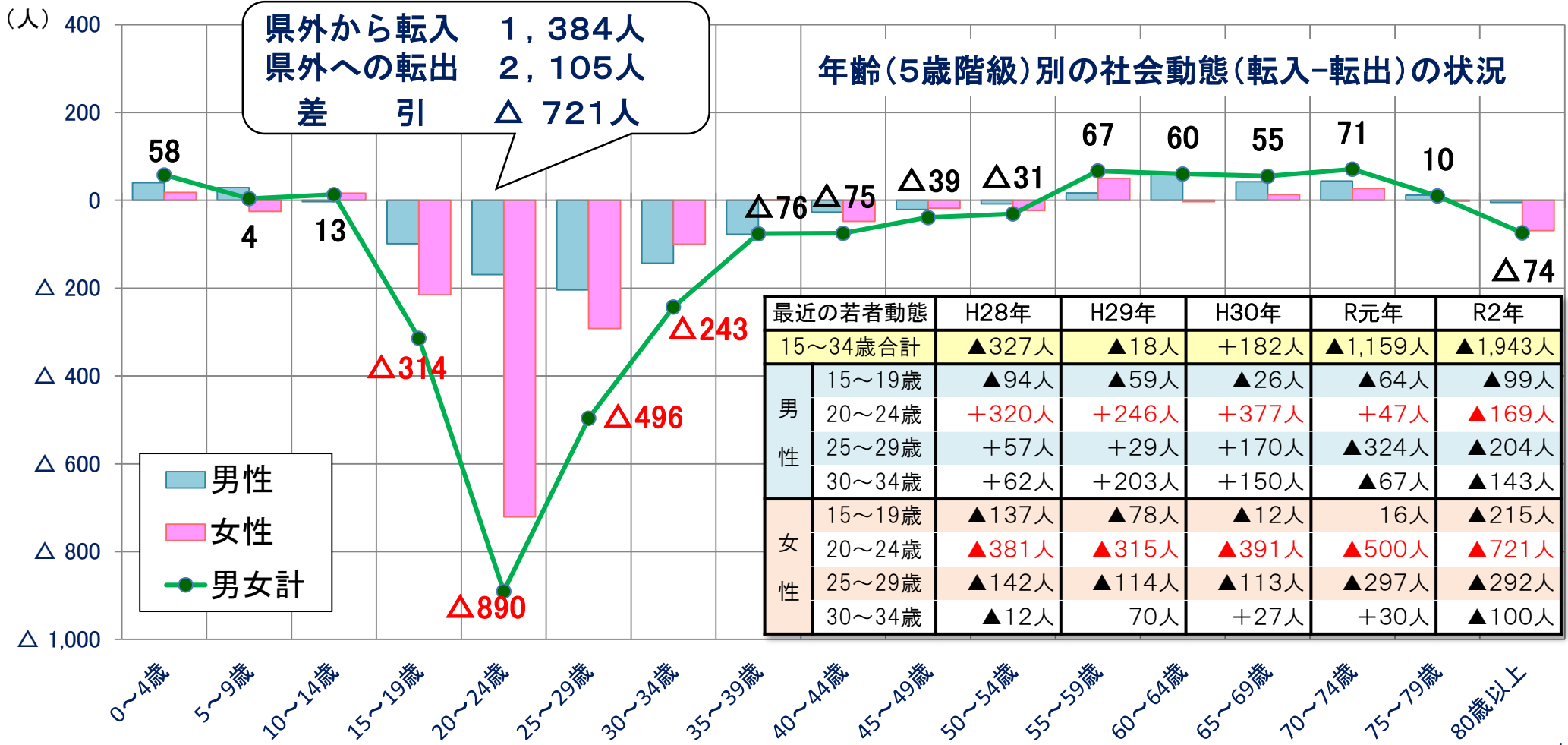
■産業振興、若者等の雇用創出、観光振興、県内への移住促進

数値目標	H27 (第1期基準)	H30	R1	R2	R6 (第2期目標)
15～34歳の社会移動 ※外国人含む	△1,551人 (H25)	182人	△1,159人	△1,943人	移動均衡
人口の社会増を目指す	△1,147人 (H26)	+519人	△813人	△1,900人	転入超過を目指す
「ずっと富山県に住みたい」「富山県に戻って住みたい」と考える高校生の割合(5年に1度の調査)	59.8%	-	-	53.8%	向上させる



(出典) 富山県「人口移動調査」(前年10月1日～当年9月30日)

- 本県の年齢別社会動態の特徴は 若者世代（15～34歳）の転出超過
- 特に 20～24歳の女性の転出超過（△721人）が顕著
- 男性においても25～29歳の転出超過（△204人）が最多



最近の若者動態		H28年	H29年	H30年	R元年	R2年
15～34歳合計		▲327人	▲18人	+182人	▲1,159人	▲1,943人
男	15～19歳	▲94人	▲59人	▲26人	▲64人	▲99人
	20～24歳	+320人	+246人	+377人	+47人	▲169人
	25～29歳	+57人	+29人	+170人	▲324人	▲204人
	30～34歳	+62人	+203人	+150人	▲67人	▲143人
女	15～19歳	▲137人	▲78人	▲12人	16人	▲215人
	20～24歳	▲381人	▲315人	▲391人	▲500人	▲721人
	25～29歳	▲142人	▲114人	▲113人	▲297人	▲292人
	30～34歳	▲12人	70人	+27人	+30人	▲100人

(出典) 富山県「令和2年人口移動調査」(令和元年10月1日～令和2年9月30日) 16



## 首都圏で就職した富山県出身女性との意見交換での意見

- 富山は**保守的**で、やる気のある人に対して冷ややかな目で見ることが多い。
- 地元では**文系**を採用してくれない。
- 非正規で働いていたので、富山では非正規雇用の人を正規で採用してくれない。  
**新卒→終身雇用**しかない。
- 固定概念（新卒、正規で退職まで）**が強い。転職でスキルアップする文化がない。
- 固定概念（よい高校・大学→よい就職先→30までに結婚、子ども・・・）**が強い。柔軟な考え方、いろいろな価値観を持つ人が増えるとよい。
- 富山では、フリーランスやIT企業勤務というと、大丈夫？と聞かれる。**多様性**のある働き方が認められない。親が不安がって面倒なので、ずっと「大手の企業に勤めている」と言っておいた。

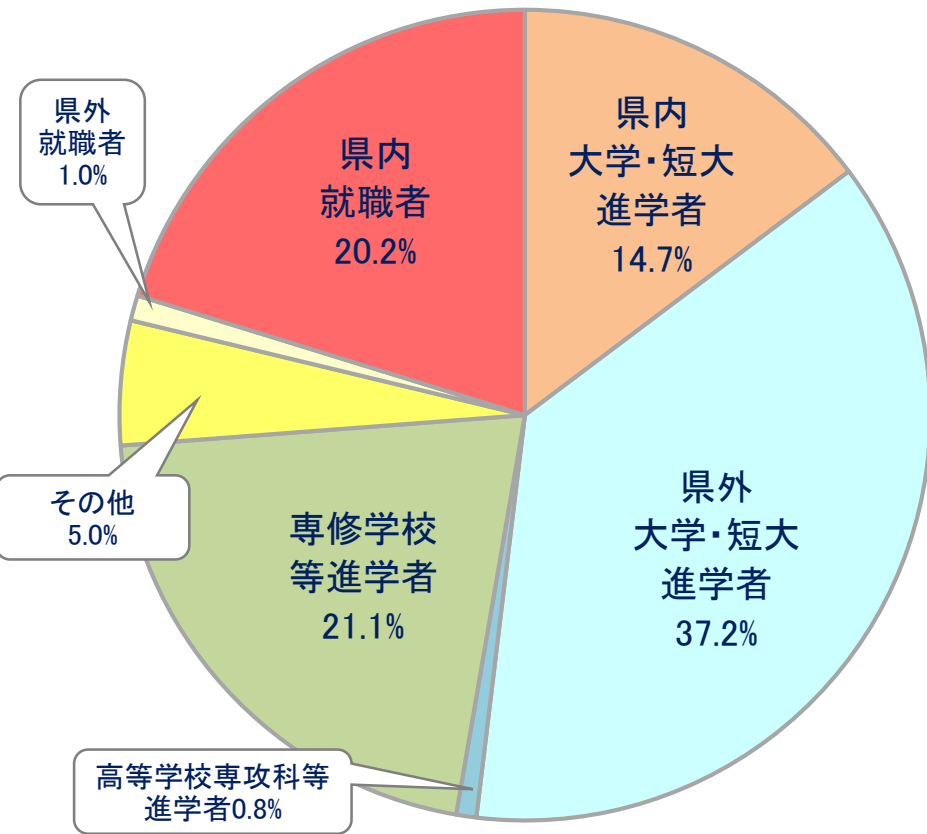
（出典）令和元年度第2回富山県子育て支援・少子化対策県民会議（R2.2.14）より抜粋

※意見交換会 日時 令和元年11月5日

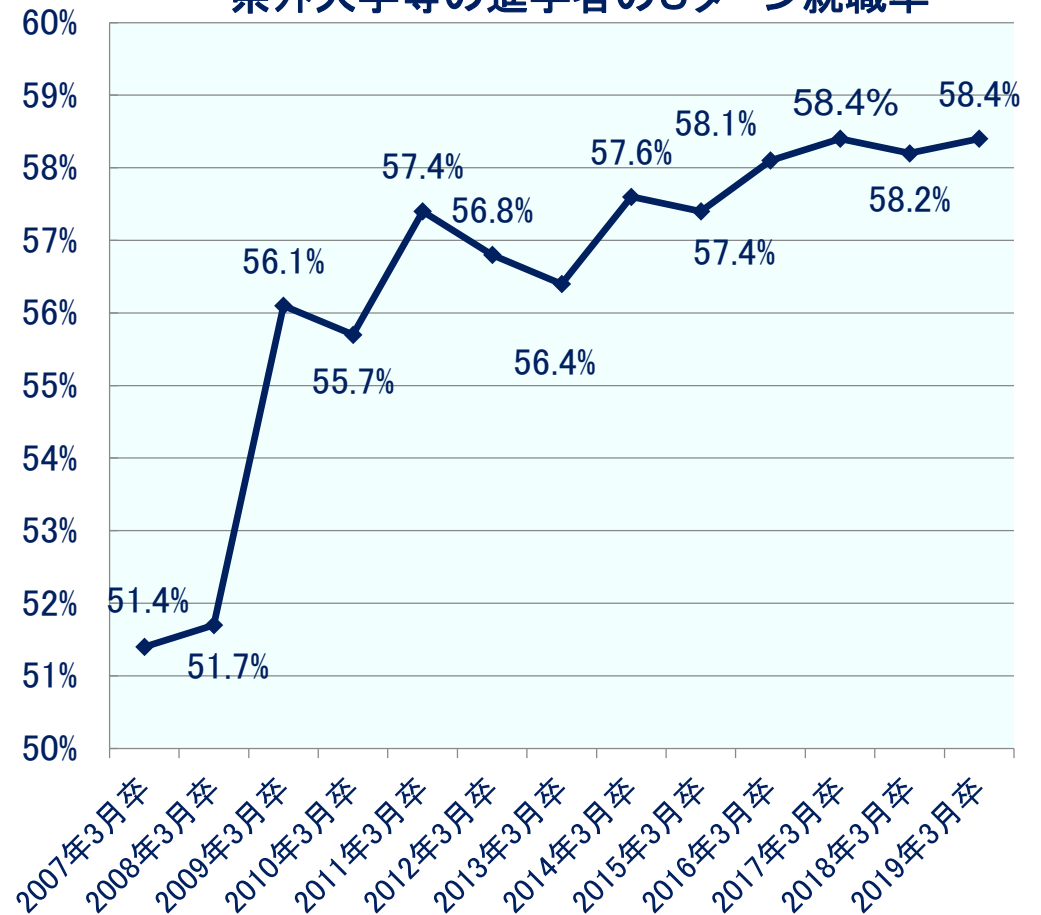
出席者 社会人女性（20代12名、30代前半2名）、女子学生3名、他

- 県内高校卒業者（H31.3卒 9,142人）のうち 半数強が大学・短大へ進学
- 卒業者の約20%を占める就職者の県内就職率は 約95%（全国第2位）
- 県外大学等への進学割合は 1/3 を超えるが Uターン就職率は5割超と高い

県内高校生の進路状況



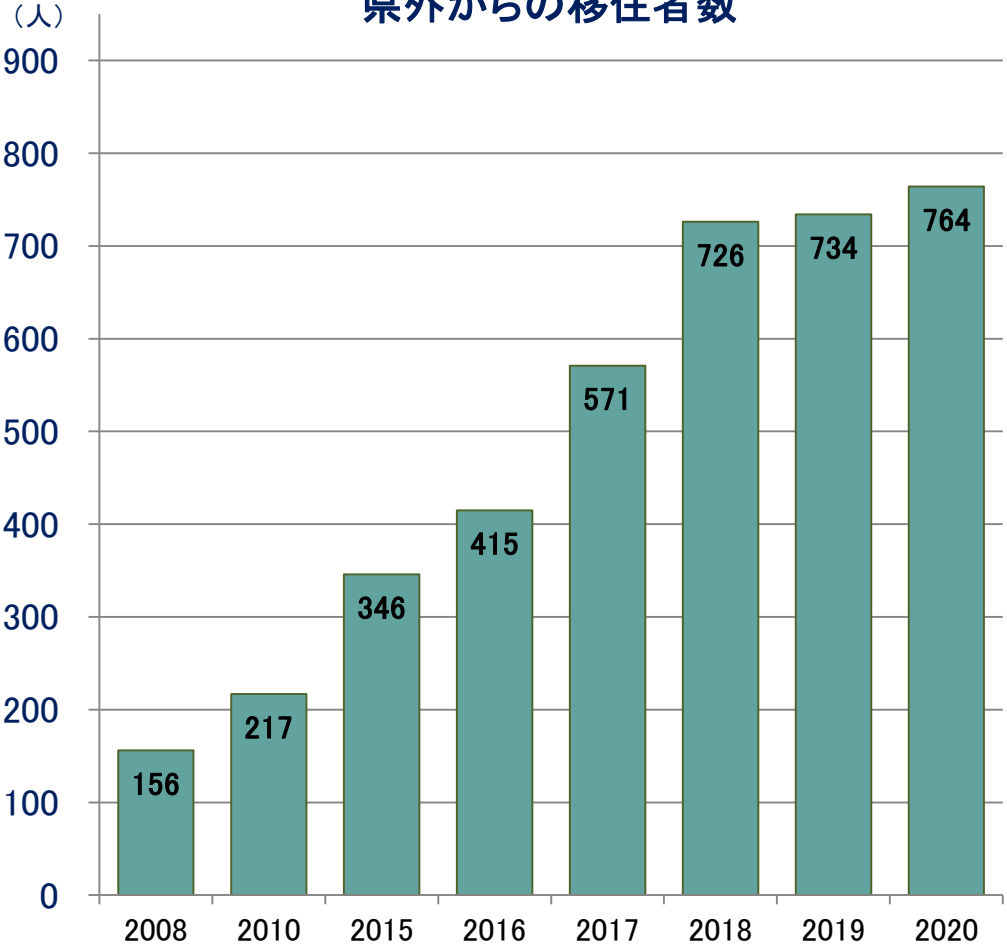
県外大学等の進学者のUターン就職率



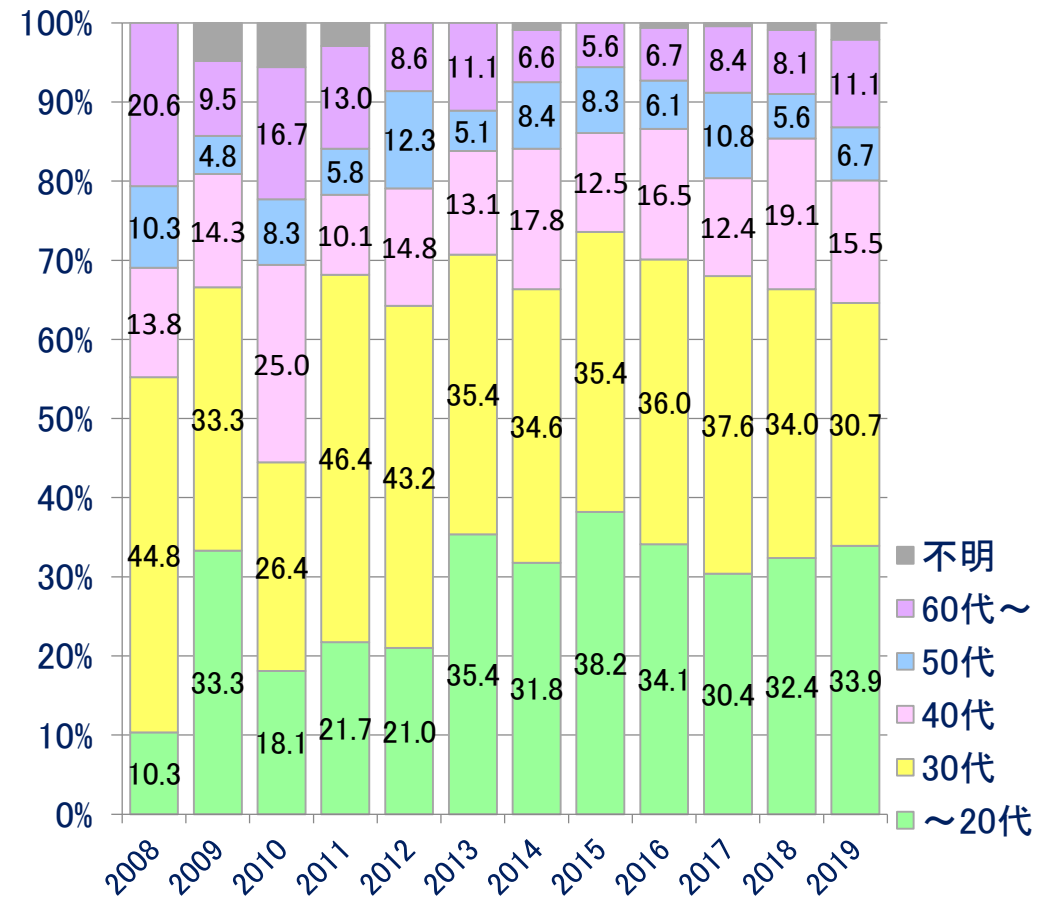
(出典) 文部科学省「学校基本調査」  
富山県「県内高等学校卒業者進路状況調査」（平成31年3月卒業者）

- 県外から本県に定住（移住）される方は年々増加傾向
- 移住世帯の世帯主年代は、若年世代で高く、30代以下で6割以上を占める

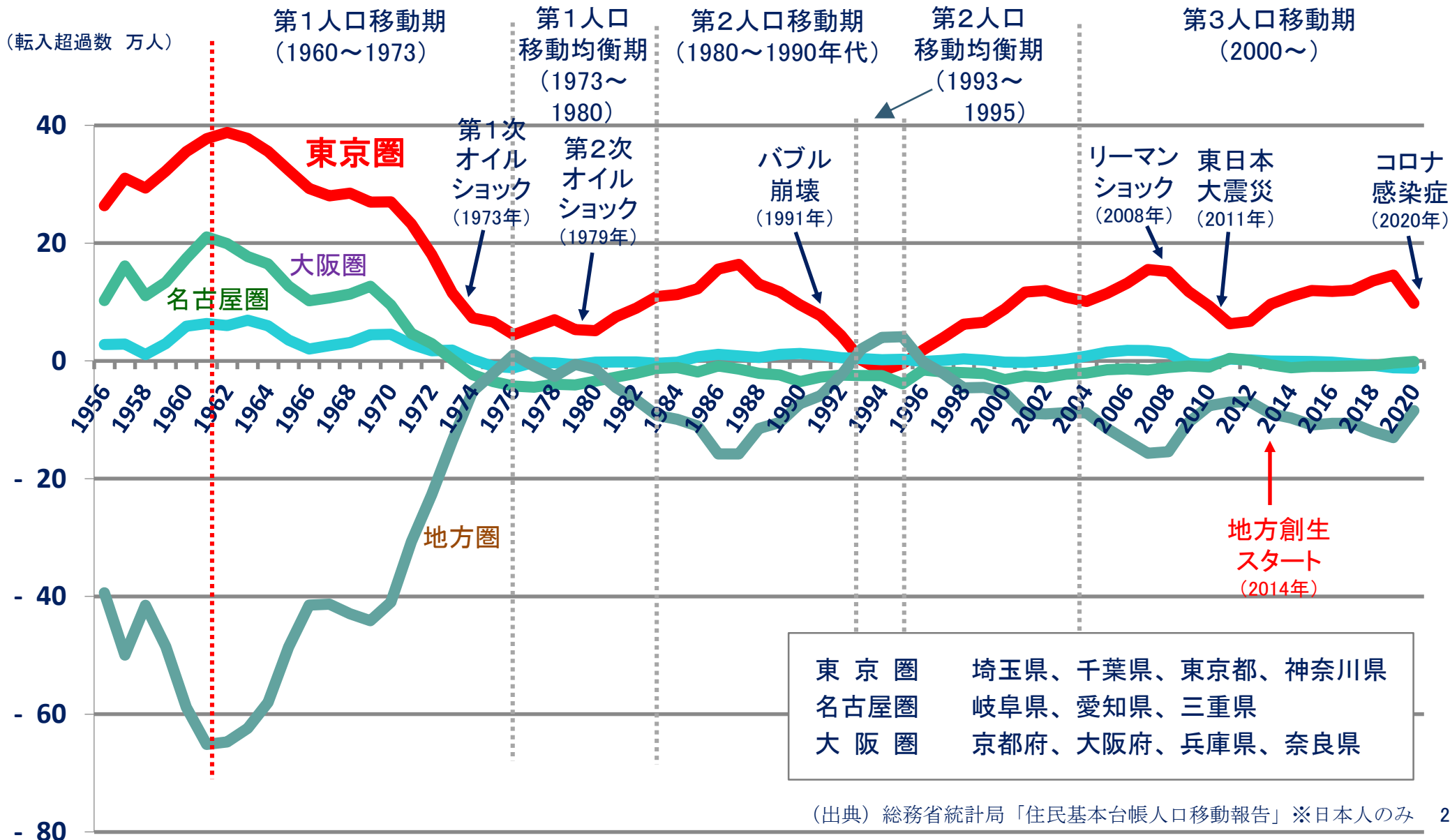
県外からの移住者数



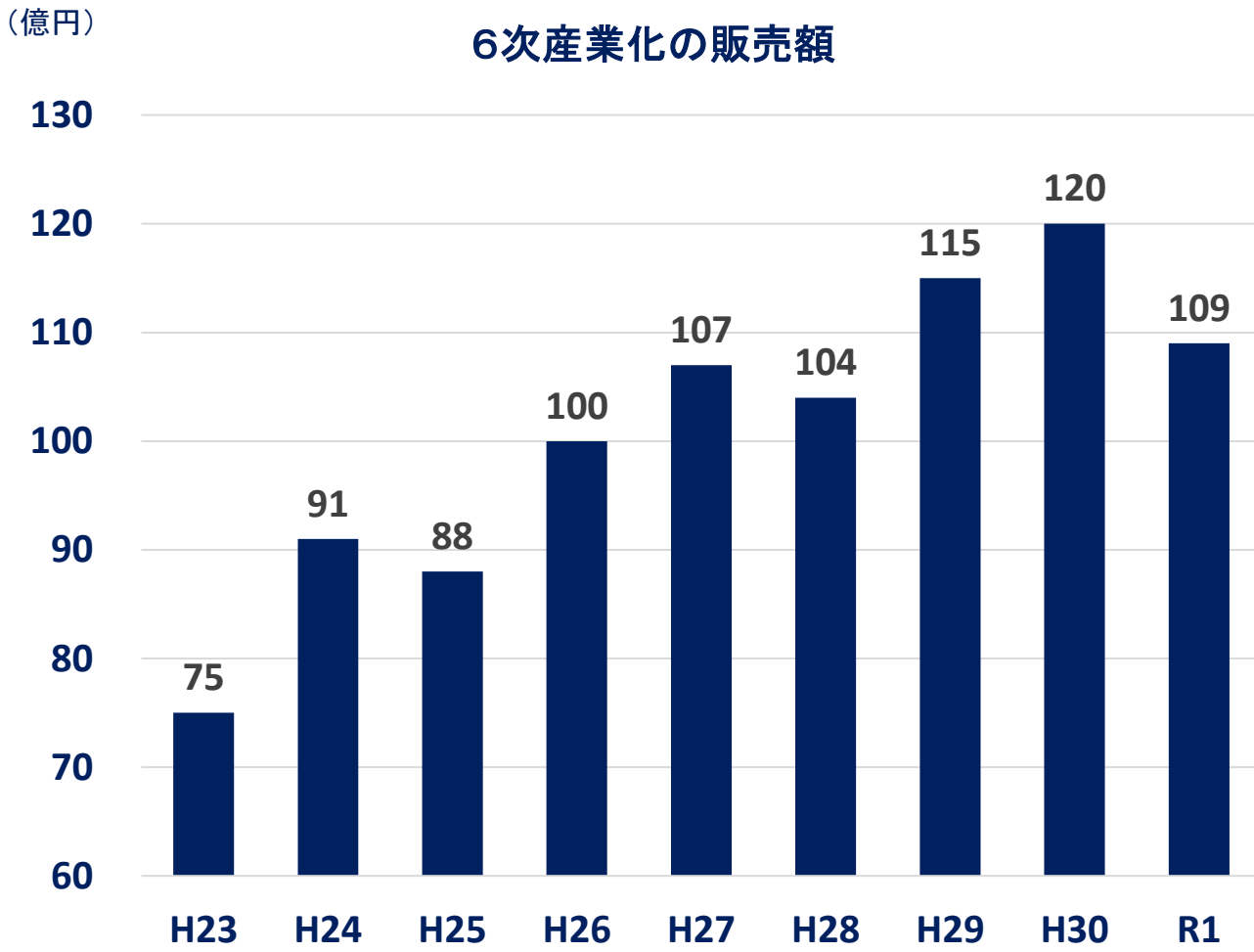
移住世帯の世帯主世代別の割合  
(定住者のうち県・市町村相談窓口を通じた定住世帯)



### 三大都市圏及び地方圏における人口移動(転入超過数)の推移



- 年によってばらつきはあるが、販売額は増加傾向にある。
- 富山県内では、農家レストランやワイナリーなどの事例が展開されている。



(農園 Kitchen moriy(高岡市))



(セイズファーム(株)T-MARKS(氷見市))

(出典) 6次産業化総合調査 (農林水産省)

#### ■産業振興・地域経済の活性化

- ▶アルミ産業成長力強化戦略推進事業（研究開発の支援）
- ▶事業再編推進事業（事業再編セミナーの開催など）

#### ■農林水産業の振興

- ▶とやま型スマート農業推進事業（園芸産地の課題解決を図るスマート農業の取り組みへの補助など）
- ▶とやまの農林水産物輸出促進事業（バイヤーとのWEBマッチング、販売体制構築の支援など）

#### ■環境・エネルギー

- ▶エコな配達推進事業（運輸部門の課題把握のための県民・事業者への調査など）

#### ■若者の県内定着

- ▶ヤングジョブとやまの運営（学生や若者向けにキャリア相談や就職応援セミナー、合同企業説明会などを実施）
- ▶オンライン・社会人インターンシップ導入支援事業（県内企業において、オンラインによるインターンシップや社会人を対象としたインターンシップを推進するため、導入を促すセミナーや合同企業説明会等を開催）
- ▶とやまUターン補助金（合同企業説明会等への参加学生に対する交通費助成）
- ▶とやま学生居住支援事業（県内大学に進学する県内在住の子弟を対象に、地域貢献活動参加等を条件として家賃の一部を支援）
- ▶Uターン推進強化事業（県内大学生の県内定着を促進するため、若手社員と学生との座談会の実施など）

#### ■地域づくり、観光の振興

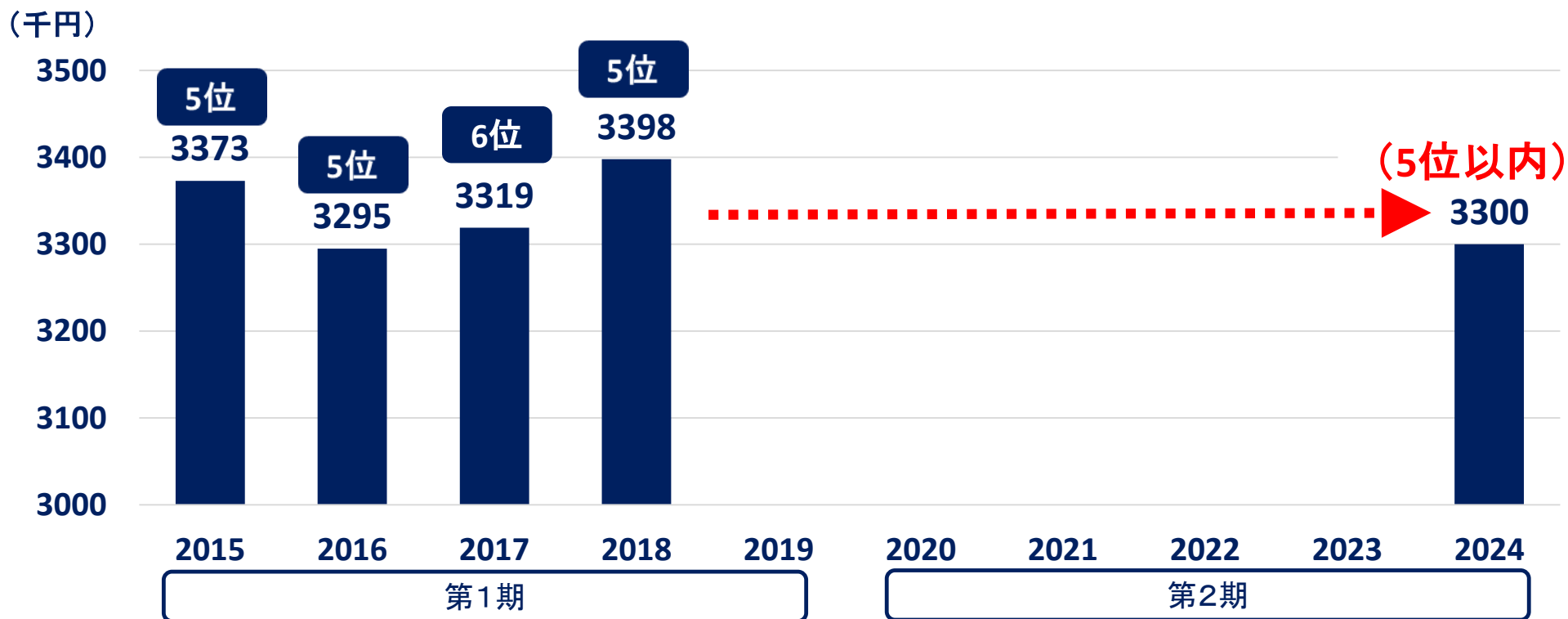
- ▶新たな地域づくり展開促進実証事業（人材交流や新たな企画の創出に向け、地域づくりに実践的に取り組む地域づくり実践者による地域づくりラボの設置）
- ▶「立山黒部」観光需要回復支援事業（事業者が行う観光プロモーションへの支援）

#### ■移住・定住の促進、応援人口の創出・拡大

- ▶富山くらし・しごと支援センターの運営（東京、大阪、名古屋、富山）
- ▶サテライトオフィス誘致事業（進出企業によるサテライトオフィス整備への補助や誘致活動の実施）

■若者・女性・高齢者など多様な人材の確保と労働生産性の向上

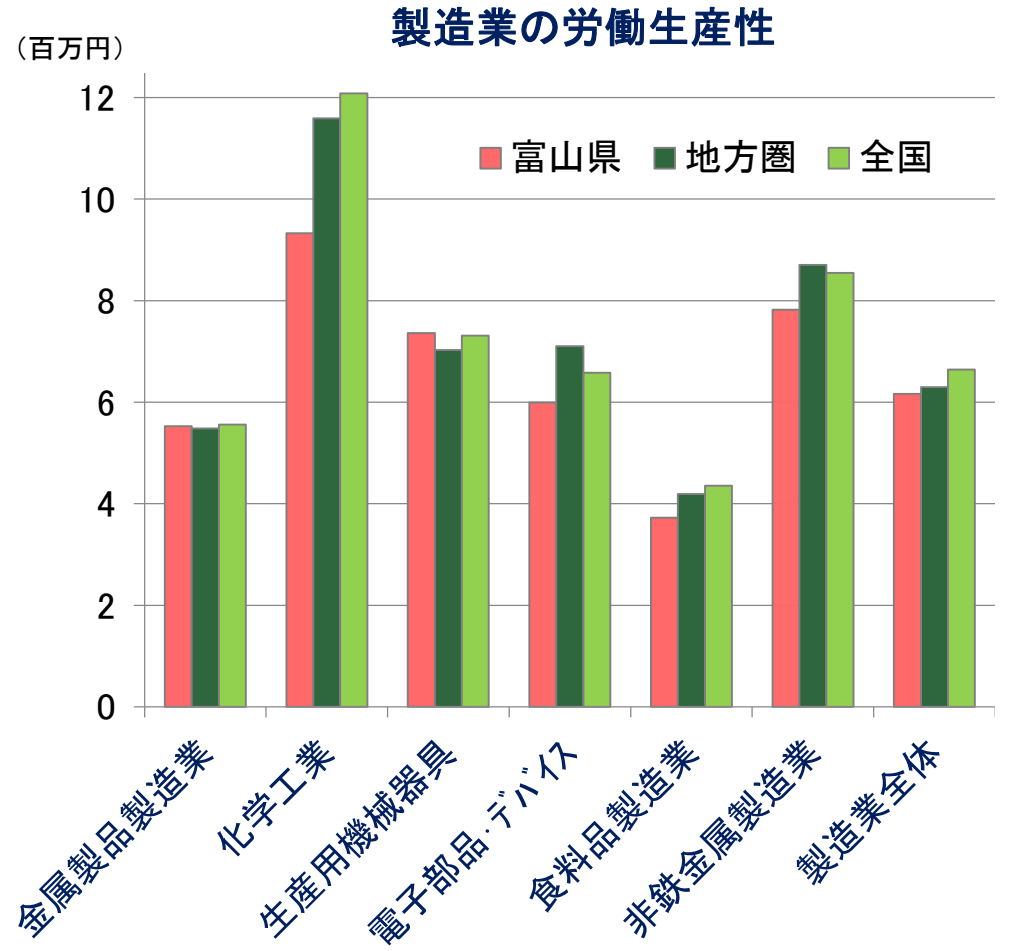
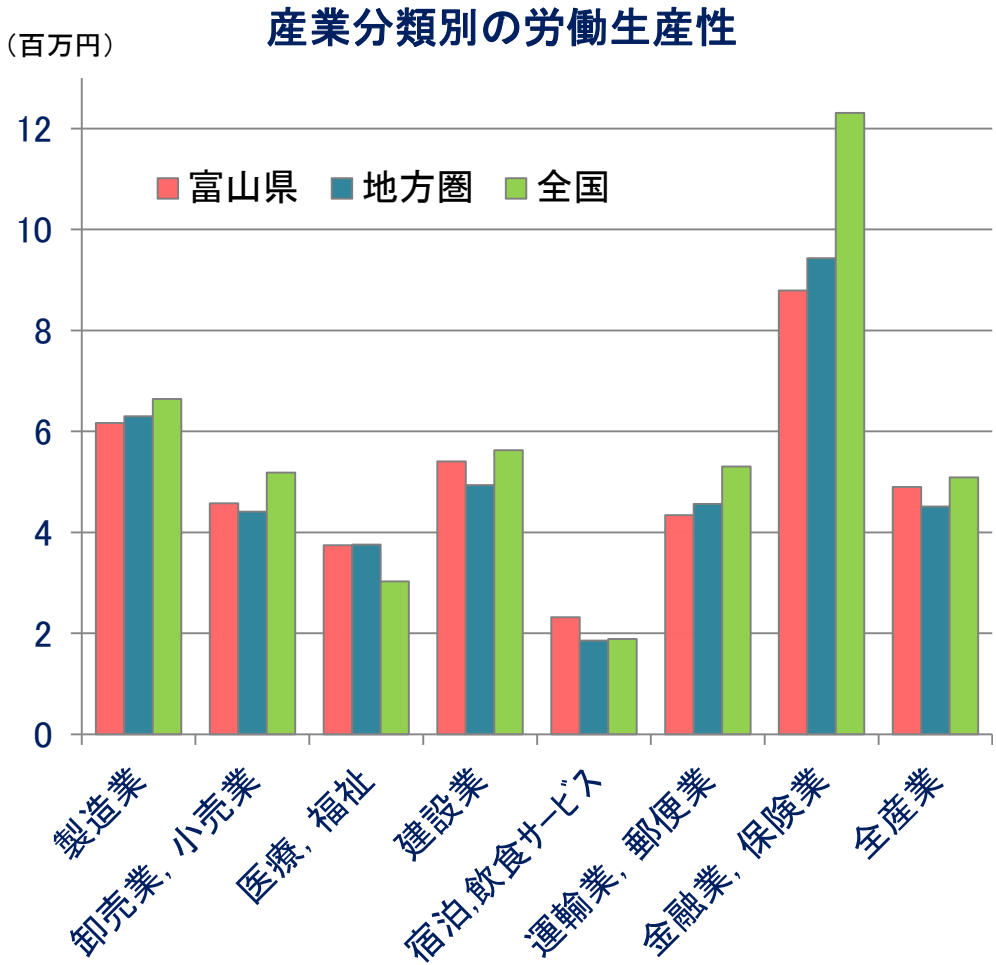
数値目標	H27 (第1期基準)	H30	R1	R2	R6 (第2期目標)
1人当たり県民所得	307.7万円 (H24)	339.8万円 全国5位	—	—	同水準を維持又は向上 (全国5位以内)



(出典) 内閣府ホームページ「県民経済計算」



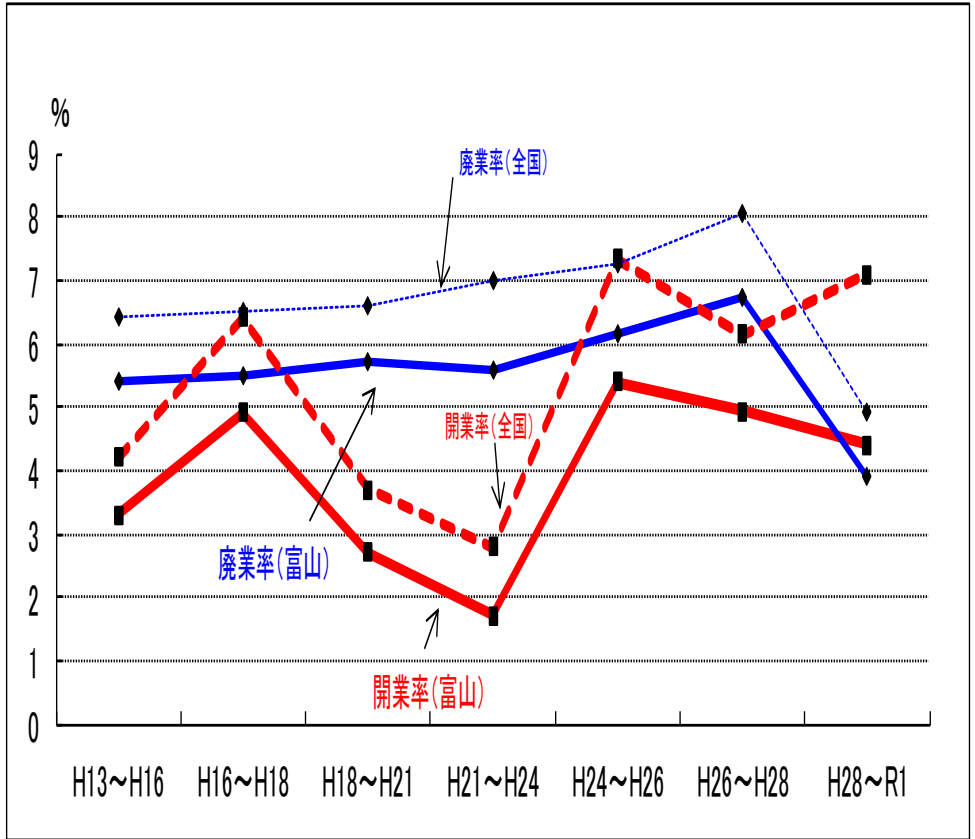
- 本県の産業分類別の労働生産性は 地方圏とほぼ同水準にある
- 化学の労働生産性は地方圏、全国を下回るが、生産用機械は何れも両者を上回る
- 今後も生産年齢人口が減少する中、本県主要産業の労働生産性の向上が大切



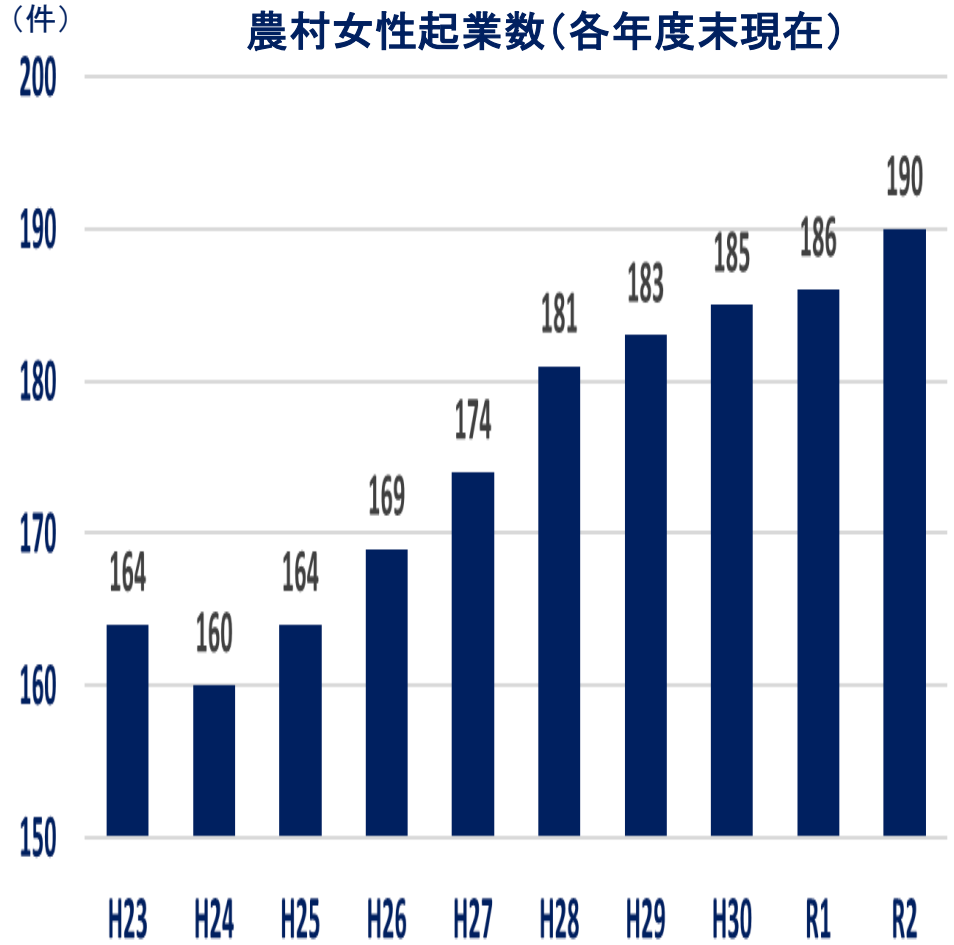


- 富山県の開業率は、全国平均に比べ低く、近年では差が開いている。
- 農産加工品開発や販売などの活動を行う農村女性起業数は、増加傾向にある。  
(例：地元の米粉を使った「地パン」の製造販売 等)

開業率・廃業率



農村女性起業数(各年度末現在)



(出典) 総務省「経済センサス(基礎調査、活動調査)」  
 ※開業数及び廃業数は事業所ベース(事業内容不詳等含む)  
 ※開業率=ある特定期間における新設事業数年平均/期首存在企業数

(出典) 富山県農村女性起業調査(農林振興センター調べ)

### ■若者や女性が輝いて働ける環境づくり

- ▶とやまUIJターン起業支援事業（本県に移住し、県内での起業を目指す若者等を対象に起業家育成プログラムを実施するとともに創業経費等を助成）
- ▶創業支援施設・UIJターン住居等整備事業（富山市蓮町の旧職員住宅の整備）
- ▶がんばる女性農業者支援事業（発展段階に応じた施設整備や商品開発を支援）
- ▶女性就業センターの運営（女性の求人や在宅ワーク等に関する情報提供、企業に対する女性雇用のサポート）
- ▶煌めく女性ネットワーク事業（ネットワークを構築する煌めく女性リーダー塾の実施）

### ■高齢者等が活躍できる社会の実現

- ▶とやまシニア専門人材バンクの運営（総合相談、出張相談会、就職支援セミナーなど）
- ▶特例子会社等設立支援事業（障害者の雇用の拡大・定着を図るため、特例子会社や特定組合等の設立に要する経費に対し補助）
- ▶障害者の一般就労トータルサポート事業（企業担当者へのコーディネーターによる個別支援など）

### ■外国人材活躍の促進と多文化共生の地域づくり

- ▶外国人材日本語習得サポート事業（企業が実施する日本語研修に対する補助）
- ▶アジア高度人材受入事業（ベトナムのトップ理系大学で学ぶ学生等を県内企業での就職・活躍につなげるため、企業と連携して支援）
- ▶富山県外国人ワンストップ相談センターの運営（県内在住の外国人に対する一元的な相談窓口の運営）

### ■多様な人材の確保・育成と労働生産性の向上

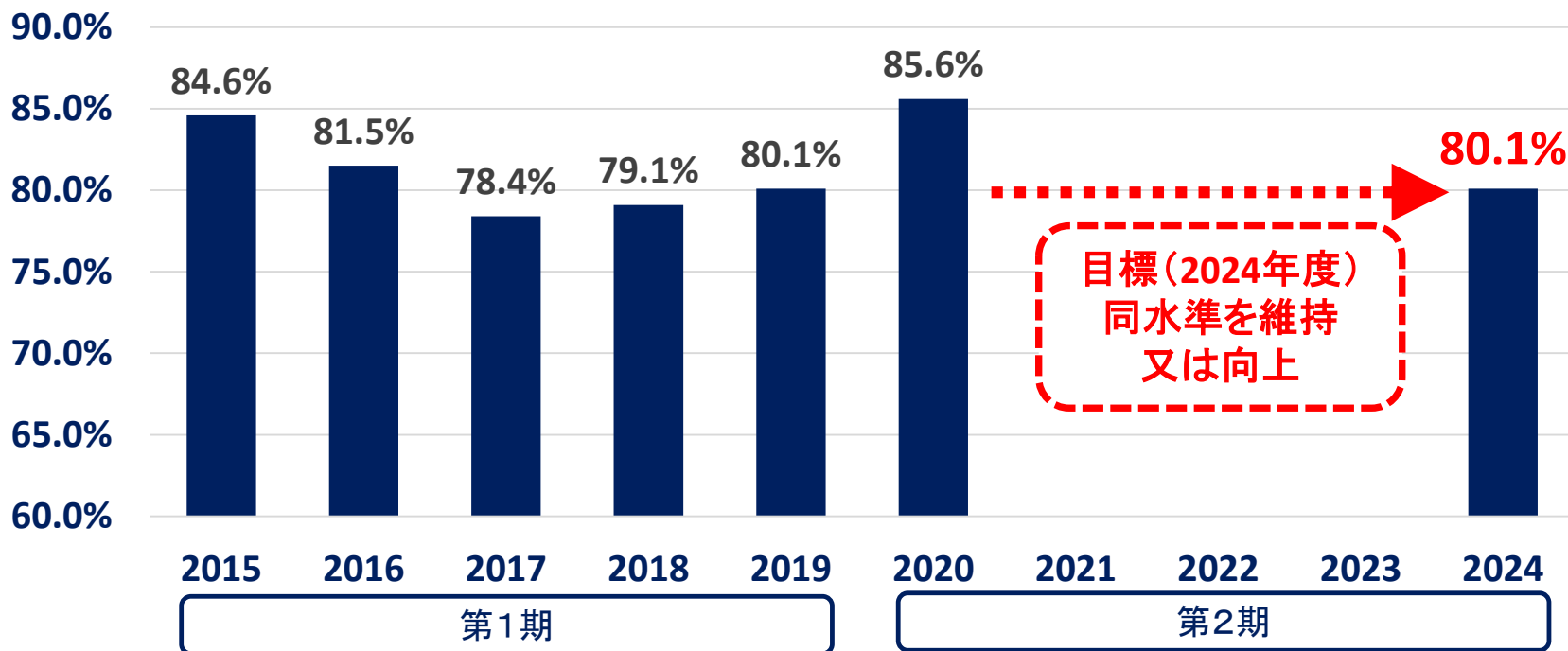
- ▶就職氷河期世代・第二新卒等正規雇用強化事業（正社員就職プログラム、合同企業説明会など）
- ▶プロフェッショナル人材確保事業（県内金融機関と連携したプロ人材や副業・兼業人材の活用を支援）
- ▶とやま観光塾開催事業（とやま観光塾の実施、県内大学等と修了生との交流・連携事業の実施）
- ▶IoT・AI・5G活用生産性向上推進事業（IoT・AI導入経費の支援、指導者の育成・派遣）

■ 活力あるまち・健やかな暮らし・未来を担う人づくり

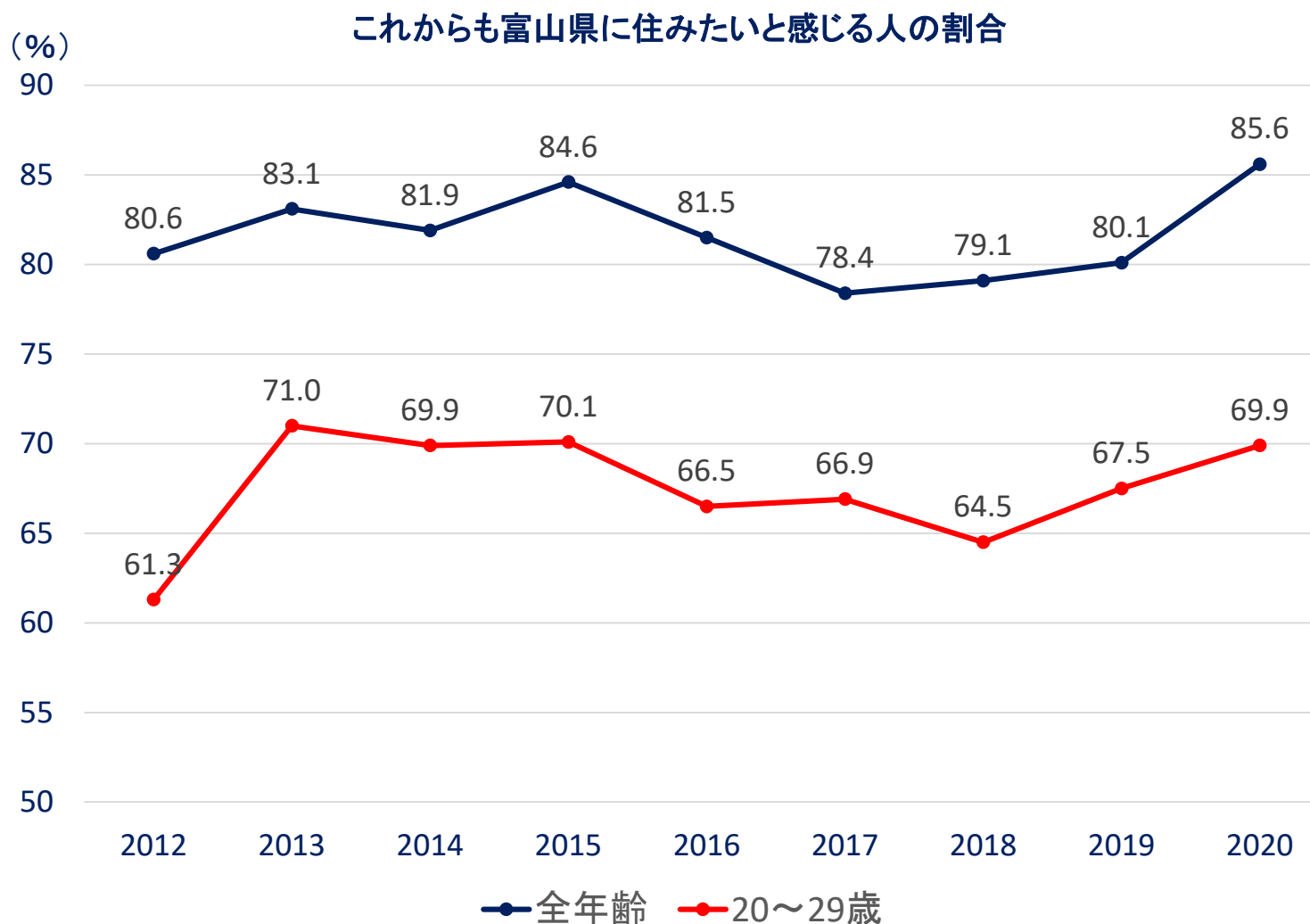
数値目標	H27 (第1期基準)	H30	R1	R2	R6 (第2期目標)
健康寿命 ※3年に1度の集計	男性70.63歳 女性74.36歳 (H22)	男性72.58歳 女性75.77歳 (H28)	-	-	男性73.88歳 女性77.01歳
「これからも富山県に住みたい」と感じる人の割合	84.6%	79.1%	80.1%	85.6%	同水準を維持 または向上

「これからも富山県に住みたい」と感じる人の割合

※対象  
県内在住の  
全年齢層



## ●「これからも富山県に住みたいと感じる人の割合」は、若年層では相対的に低い

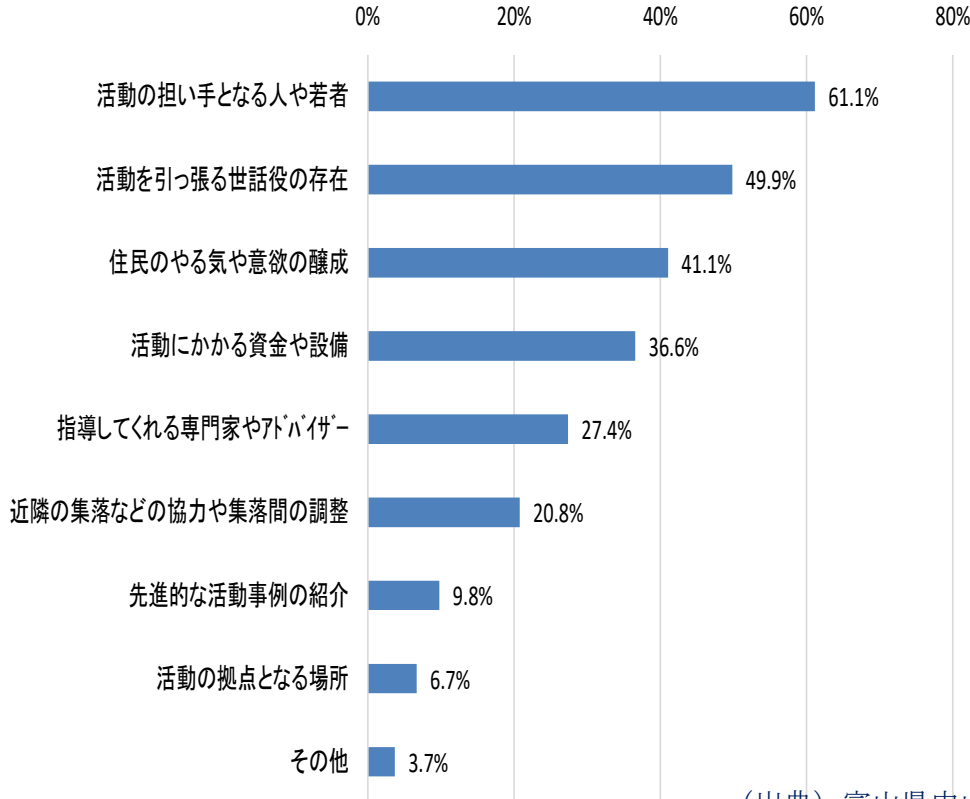


●集落活性化の取組に必要なものは、「活動の担い手となる人や若者」が61.1%と最も高く、次いで「活動を引っ張る世話役の存在」が49.9%、「住民のやる気や意欲の醸成」が41.1%

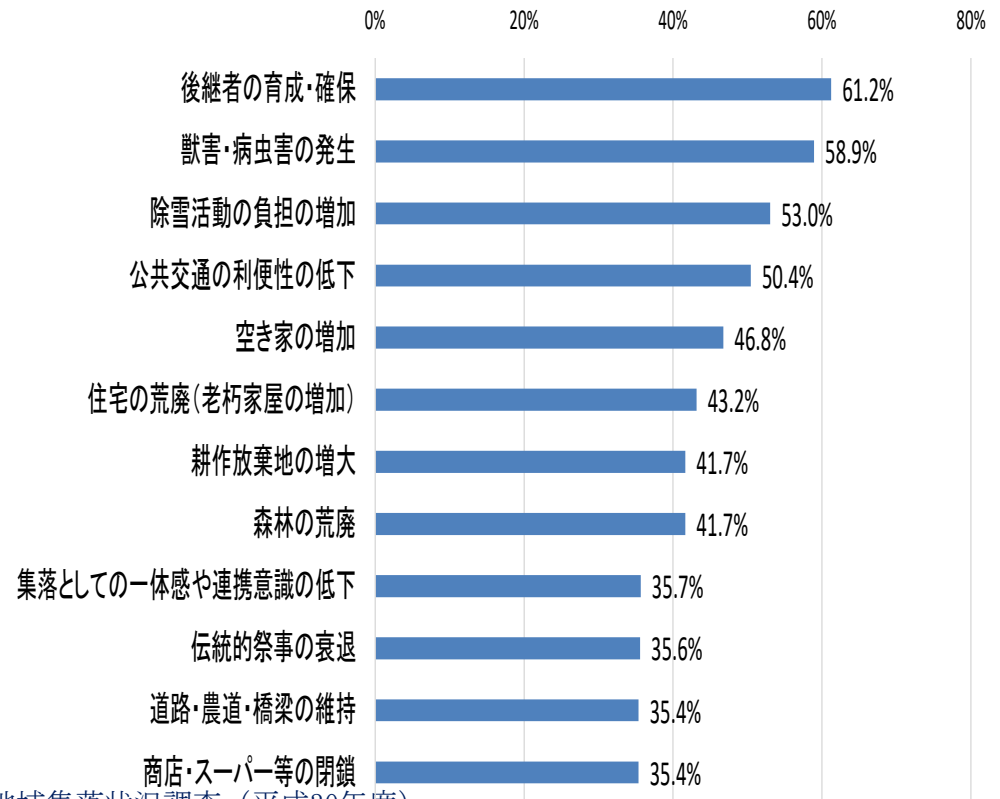
●暮らしにおいて困難が生じていることは、「後継者の育成・確保」「獣害・病虫害の発生」が多くなっている。

### 中山間地域アンケート

#### ●集落活性化の取組に必要なものは？



#### ●暮らしにおいて困難が生じていることは？



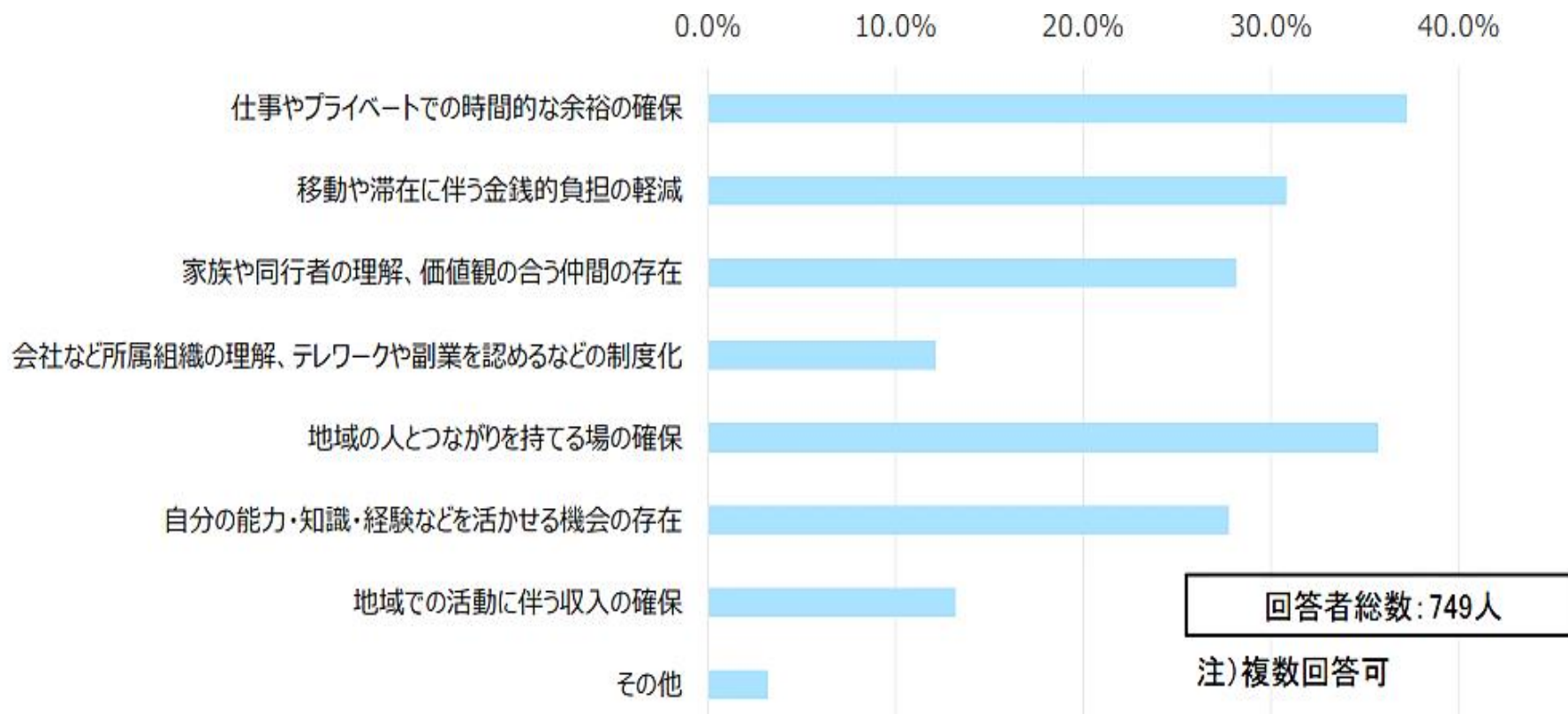
(出典) 富山県中山間地域集落状況調査(平成30年度)

対象：中山間地域に位置する全集落の代表者(回答数=1,001集落、回収率=77.1%)

●関係性を深めるために必要な要素として、「時間的な余裕の確保」に次いで、「地域の人とつながりを持てる場の確保」があげられる。

### 関係人口：直接寄与型が考える地域との関係性を高めるために必要なものは？

※直接寄与型：地域の産業創出や地域づくりに参画する層



(出典) 関係人口の実態把握 (令和2年2月18日、国土交通省国土政策局総合計画課)

※調査方法 対象者：18歳以上の三大都市圏に居住する人 (有効回答数：28,466人)

### ■交通、まちづくり

- ▶バス路線維持対策費補助金（バス路線の欠損額及び車両減価償却費等に対する支援）
- ▶中山間地域交通網維持活性化支援事業費補助金（地域が行うラストワンマイル対策等の取り組みを支援）

### ■スポーツ・文化の振興

- ▶県民歩こう運動推進事業（県民の健康づくりを推進するウォーキングイベントの開催）
- ▶創造型・舞台芸術人材育成プログラム（国内外の演劇人を対象としたスズキ・トレーニング・メソッドの開催）

### ■人生100年時代を見据えた人づくり

- ▶県立大学DX教育研究センター（仮称）整備（令和4年度供用開始）
- ▶県立大学ビジネスパーソン・スキルアップ支援事業（社会のデジタル化推進や社会人の学び直しのニーズに応じ、オンラインによる教育プログラムを提供）

### ■持続可能で安心して暮らせる地域づくり

- ▶県民総参加のSDGs推進事業（SDGs宣言の募集、ワークショップ開催、普及啓発事業への補助）
- ▶とやま版グリーンイノベーション推進事業（産学官が連携した研究会、推進会議等の開催）
- ▶食品ロス・食品廃棄物削減対策事業（とやま食ロスゼロ作戦の推進、フードバンク活動のモデル実証）
- ▶自主防災組織活動強化事業（自主防災組織が整備する防災資機材の購入を支援）

### ■豊かで魅力ある中山間地域の実現

- ▶中山間地域「話し合い」促進（アクションプラン策定に向けた住民の話し合いを支援）
- ▶中山間地域チャレンジ支援事業（集落が域外の企業等と連携して行う地域活性化に向けた取り組みを支援）
- ▶中山間地域の課題解決事業（デジタル技術等も活用した地域課題の解決を支援）
- ▶中山間地域等買い物サービス総合推進事業（買い物サービス支援への補助など）



分野	項目	富山県	出典
生活	持ち家率（H27年）	全国5位（78.1%）	国勢調査
	1人当たり県民所得（H30年度）	全国5位（3,398千円）	県民経済計算
	生活保護率（低い順）（H30年）	全国1位（0.34%）	被保護者調査、人口推計
安全	重要犯罪件数 （人口10万人あたり）（R2年）	全国10位（4.3件）	刑法犯認知件数をもとに算出
社会資本	道路整備率（H31年）	全国4位（72.5%）	道路統計年報
教育	全国学力・学習状況調査（H31年）	全国4位（中学3年）	全国学力・学習状況調査
働く	有効求人倍率（H31年度）	全国7位（1.81倍）	一般職業紹介状況
	女性就業率（15～64歳）（H27年）	全国3位（72.0%）	国勢調査
社会動態	県外に移動した人のうちUターンで 出生都道府県に戻る人の割合	全国2位（55.3%）	第8回人口移動調査/国立社会 保障・人口問題研究所



人口の推移		<ul style="list-style-type: none"> <li>○本県の<b>人口のピーク</b>は全国より10年早い</li> <li>○労働力を支える<b>生産年齢人口</b>は減少傾向が続く</li> <li>○2005年から<b>自然＋社会動態</b>のマイナスが相まって人口減少が加速</li> </ul>
自然態	出生、婚姻	<ul style="list-style-type: none"> <li>○<b>合計特殊出生率</b>は近年上昇の兆しもあるが、出生数は最低を更新</li> <li>○<b>平均初婚年齢</b>と<b>生涯未婚率</b>の上昇が現在の少子化に影響</li> <li>○実際は<b>結婚や出産を望む声</b>が多く、希望を叶える環境づくりが重要</li> </ul>
社会態	年齢別移動 他県移動	<ul style="list-style-type: none"> <li>○若者世代、特に<b>20代前半の女性の転出超過</b>が顕著</li> <li>○東京をはじめとする<b>大都市圏への転出超過</b>が顕著</li> </ul>
	高校生進路 大卒者就職	<ul style="list-style-type: none"> <li>○県外大学等へ進学する高校生が多いが、<b>Uターン就職率</b>も高い</li> <li>○県内大学等の卒業生(県外出身者)の<b>県内就職率</b>は低い</li> </ul>
	移住の状況	○県外から本県に <b>定住(移住)</b> される方は年々増加傾向
産業	従業者 付加価値	<ul style="list-style-type: none"> <li>○本県は全国と比べ<b>製造業従事者</b>の割合が高い</li> <li>○付加価値の1/3を製造業が生み、中でも<b>化学工業</b>の割合が高い</li> </ul>
	労働生産性	○ <b>製造業の労働生産性</b> は地方圏・全国と比べ高くない状況



これらの状況をふまえて、地方創生を推進中

- 富山県は住みやすい県であるものの、**人口**は自然減・社会減。改善には何が必要か？
- 地域にあるものの**価値**（自然、食、日常生活など）を県民自身が認識するには、何が必要か？
- 先行き不透明な将来に向けて、**産業**を活性化するには何が必要か？

**E O F**